

事務事業評価シート

事業種別 継続 補助 事業類型 施設の管理・運営

1次評価のみ対象

コード	名称		区分	コード	名称	
事業名	739	東海自然歩道管理経費	会計	01	一般会計	
基本施策	44	資源ともてなしの心を活かし、観光を振興する	款	07	商工費	
			項	01	商工費	
施策	2	歩いて、じっくり味わえる観光振興	目	03	観光費	
			細目	102	観光施設維持管理事業	
細々目			02	東海自然歩道管理経費		
基本計画該当頁	165	コード	553500		評価者氏名	北川 幹洋
行革大綱の重点事項番号		担当部課	伊賀支所産業建設課		連絡先	45 - 9119 (内線) 300

事業の計画・内容

対象等(何が、誰が)			成果(どうなるのか)		
事業目的	東海自然歩道利用者 (対象件数)		東海自然歩道利用者が安全、快適に利用できる。		
開始年度	平成	年度	関連事業		
終了年度	平成	年度	根拠法令・要綱等		
本年度事業内容	東海自然歩道維持管理委託(パトロール員2名) 東海自然歩道草刈清掃等業務委託		状況変化等		

整備内容

1 建設用地	
2 建設面積(延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	千円

事業実績

活動指標	単位	実績値		目標値	
		H17	H18	H19	H20
東海自然歩道維持管理委託	人	目標	2	2	2
		実績	2	2	2
東海自然歩道草刈清掃等業務委託	件	目標	1	1	1
		実績	1	1	1
		目標			
		実績			
		目標			
		実績			
		目標			
		実績			

運営体制

1 運営主体	
委託先	(有)芭蕉農林、岡島久司、中森秀治
2 配置(予定)人員	人
3 年間運営費	千円
4 市内の類似施設	

評価指標

事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
			H17	H18	H19	H20
パトロール回数	利用者が安全快適に利用するためには、適切なパトロールの実施が重要である。	回	目標 22 実績 22	目標 22 実績 22	22	22
草刈清掃等実施回数	雑草が繁茂する夏場に草刈清掃を実施し、利用者の安全を確保しなければならない。	回	目標 2 実績 2	目標 2 実績 2	2	2

評価

評価項目	ポイント	評価項目についてのコメント
必要性	4	自然歩道利用者が安全、快適に通行するためには、パトロールの実施と草刈清掃の実施が必要である。また、トイレ等の管理も重要である。
有効性	4	自然歩道利用者が安全、快適に利用するためには適切なパトロールによる事前の調査と草刈清掃を実施することが有効である。
達成度	4	計画どおり実施できた。
効率性	4	今後利用者の増加が予想され、利用者の安全確保の観点から最低限の支出と考える。

総合評価	事業の方向性	改善についての取り組み
A	現状維持	東海自然歩道の利用者は年々増加しており、道路とトイレ等の適切な維持管理が今以上に重要となると思われる。

進捗状況	年度	平成17年度 決算内容			平成18年度 決算内容			平成19年度 計画内容			平成20年度 計画内容		
		事業内容	数量	金額	事業内容	数量	金額	事業内容	数量	金額	事業内容	数量	金額
委託		委託料		495	委託料		849	委託料		851	委託料		851
		その他		170	その他		62	その他		77	その他		77
工事													
進捗率(%)		事業費計(A) 665			事業費計(A) 911			事業費計(A) 928			事業費計(A) 928		
		事業投入人員 人件費(B) 0.1 人			人件費(B) 0.1 人			人件費(B) 0.1 人			人件費(B) 0.1 人		
		フルコスト(A)+(B) 1,385			1,631			1,648			1,648		

事業費(人件費除く)の財源内訳

(A)	事業費	665	911	928	928
Aの財源内訳	国庫支出金				
	県支出金	662	662	632	632
	地方債				
	受益者負担				
	その他				
	一般財源	3	249	296	296
	計	665	911	928	928
備考	特定財源の名称・補助基本額・率 地方債の区分と充当率等	東海自然歩道管理委託金 10 / 10	東海自然歩道管理委託金 10 / 10	東海自然歩道管理委託金 10 / 10	東海自然歩道管理委託金 10 / 10